

第 69 回東日本選手権競漕大会他のレース運営における注意事項

令和元年 10 月 30 日
一般社団法人東京都ボート協会
競技本部

いつも弊協会の大会運営へのご理解とご協力、ありがとうございます。

さて 11 月 9 日（土）～10 日（日）開催予定の第 69 回東日本選手権競漕大会他については、頂いたエントリーに基づき、レーススケジュールおよび組合せを作成の上、過日弊協会 HP へアップ致しました。

ここで今大会のこれらのレースの実施に際し、以下の点で通常とは異なる運営方法を採用することと致しますので、これらについて説明致します；

1. レース水域について

今大会では第 69 回東日本選手権の 2000m レースと、第 19 回谷古茂盾争奪マスターズ、第 29 回東日本中学新人選手権の 1000m レース、及び第 9 回小学生交流レガッタの 500m レースを同一日程内で実施する必要があります。

このうち 500m レースについては、1500m 地点にてフリースタートを実施し、2000m 地点をフィニッシュラインとすることで問題ありません。

一方、1000m レースの実施においてフィニッシュラインを 2000m 地点とするには、大会日程中のいずれかの時点で 1000m 地点におけるステッキボートの設置或いは撤去の段取り替え作業が必須となります。

しかるに今回の 2000m の東日本選手権では、当初予想よりかなり多くのエントリーを頂き、それに伴い必要実施レース数が多くなったこと、また谷古茂盾争奪マスターズでは使用する艇の配艇の関係からレース間隔をかなり長く設定せざるを得ないこと、更にレース当日は日没が 16:40 頃と早いこと等から、上記段取り替え作業を安全上必要な時間的余裕をもってスケジュールに組み込むことは不可能であると判断致しました。

このため今回の谷古茂盾争奪マスターズおよび東日本中学新人選手権の 1000m レースについては、0m 地点より 1000m 地点までをレース水域とする、すなわちフィニッシュラインを 1000m 地点とすることと致します。

2. 航行ルールについて

前記措置に伴い、大会当日はレース距離によってコースの航行ルールを変更致します。

詳細は別図をご覧いただきたいのですが、以下の様です：

① 東日本選手権（2000m）

通常のこれまで東ボで採用している 2000m レース時の航行ルールを適用します。練習水域は 0～1500m 地点まで、うち 0～500m 地点までは次レースの出漕艇のみが自己レーンでスタート練習等に使用することができます。

② 谷古茂盾争奪マスターズ及び東日本中学新人選手権（1000m）

練習水域は 0～1000m 地点まで、うち 0～500m 地点までは次レースの出漕艇のみが自己レーンでスタート練習等に使用することができます。

1000～2000m 水域はフィニッシュライン通過後の出漕クルーのクールダウンのみに使用し、他の練習艇等は使用しないでください。

③ 小学生交流レガッタ（500m）

小学生クルーは 1000～1500m 水域のみで練習を行い、1000m 地点より西側水域へは進入しないでください。

小学生クルー以外のクルーは、練習水域は 0～1000m 地点まで、うち 0～500m 地点まではスタート練習等に使用することができます。小学生クルーの練習やレースを実施している 1000～2000m 水域には進入しないでください。

特に 1000m レースや 500m レースを実施している時間帯にこれらレースに出漕する以外のクルー（東日本選手権出漕クルー）が練習を行う場合には上記②または③に従ってください。

3. 使用レーンについて

昨年より戸田コースでは藻の繁殖が著しく、しばしばそれが艇の航行に支障を与えており、レース運営にも都度その影響を極力回避する方法を検討、採用してきています。

今大会では、関係各位のご努力や季節的な条件から、まず平常通りのコース状況の下でレースを実施できると観ていますが、それでも当日の気象条件等で影響される可能性はゼロではないので、レーンの使用については、以下の様な考え方で運営していくことと致します：

- ① レースは基本的に最大 6 レーンまで使用します。
- ② 但しこれまでの状況から藻の影響を最も大きく受け易い 1 レーンは、可能であれば使用しない、即ち出漕クルー数が 5 ハイ以下であればそのレースは 2 レーン以降を使用します。
- ③ このため予選や準決勝の成績に基づくレーンの割り当て優先順位は、通常 3 → 4 → 2 → 5 → 1 → 6 ですが、今大会では 3 → 4 → 2 → 5 → 6 → 1 に変更します。

以上今大会は様々な事情から、運営上変則的な方式にて実施していくところも多くなりますが、何よりも安全や公平性の確保の観点から必要な措置ということで、関係各位の御理解と御協力を宜しくお願い致します。

以上